

フロアヒンジ
施 工 要 領 書

(ひな形)

ドアクローザ工業会

平成15年6月制定

— 目 次 —

1. 本体の据付 ————— (1～3)

埋め込み用空間	1
仮設置	
高さ方向の位置	
垂直通り芯	
本体の水平	2
たて枠と平行	
本体の固定	
石張り・タイル張り用の据付	3

2. ドアの吊り込み及び調整 ————— (4～7)

吊り込み	4
トップピボット及びアームでのちり調整	5
アルミ製扉・鋼製扉・木製扉用	
強化硝子扉用	
本体での閉鎖位置及びちり調整	6
ドアの高さ調整	
閉扉速度の調整	7

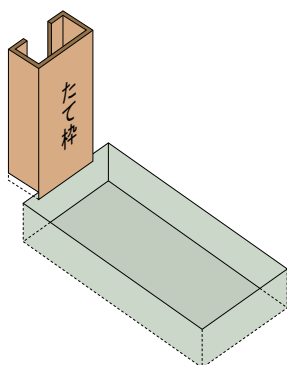
3. 部品（トップピボット・アーム）の取付 ————— (7)

(ネジの径・下孔径・裏板・締付け基準トルク)

本書に於けるイラスト及び調整方法は、代表的な機種で表示しています。
該当しない機種もありますので、詳細は取付説明書を参照してください。
部品の取付に関しては、（3. 部品（トップピボット・アーム）の取付）を
必ずお読みください。

1. 本体の据付

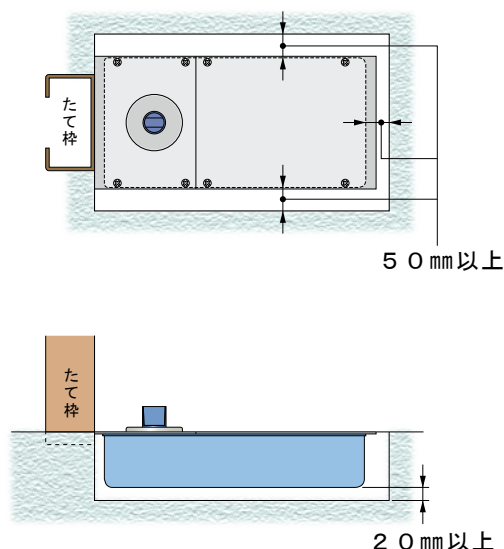
イ) 本体の据付位置に埋め込み用空間を作る。



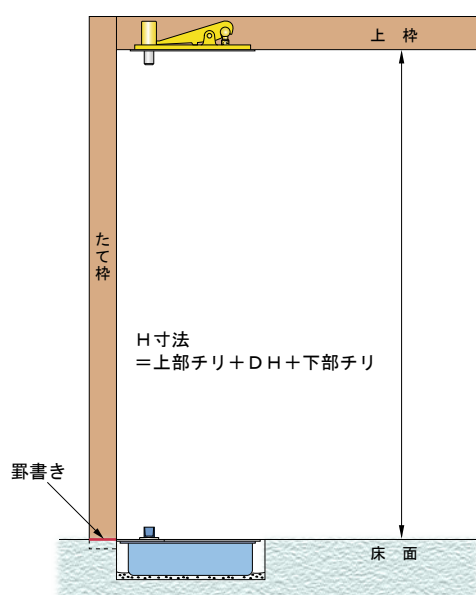
■空間の大きさ

セメントケースの大きさより周囲（三方）は
50 mm以上、深さ20 mm以上とする。

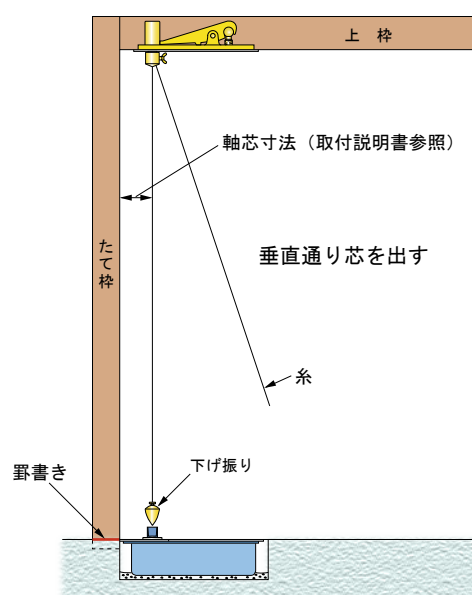
ロ) 本体を仮設置する。



ハ) 本体の高さ方向の位置を決める。

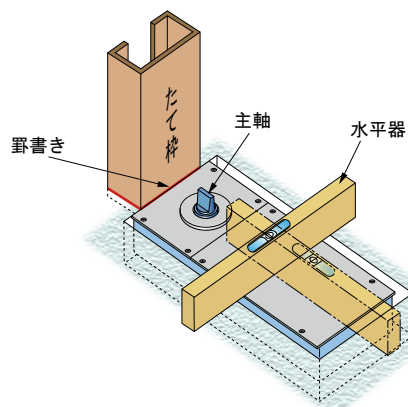


ニ) 本体の垂直通り芯を出す。
（トップピボットの軸より下げ振りなどにて行う）

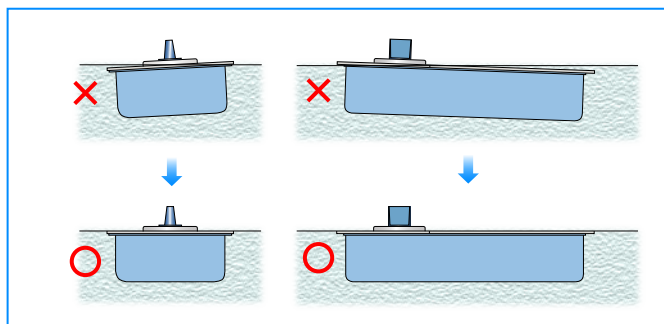


※埋込用空間の底にモルタルを敷き、たて枠にH寸法の罫書きを入れ本体の高さを決め、下げ振りなどにより
トップピボットの軸と本体主軸との垂直通り芯を出す。

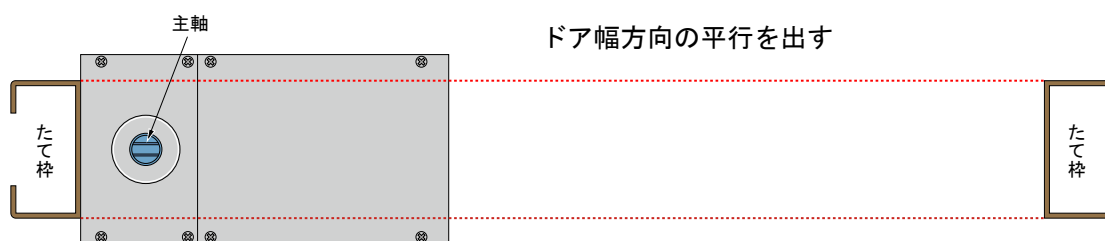
ホ) 本体の水平を出す。(ドア幅方向及びドア閉鎖位置方向)



※水平レベル



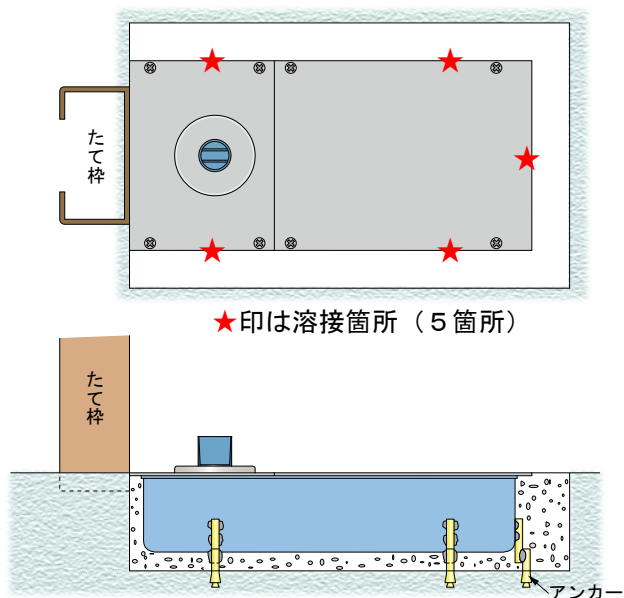
ヘ) 本体をたて枠と平行にする。



ト) 本体を固定する。

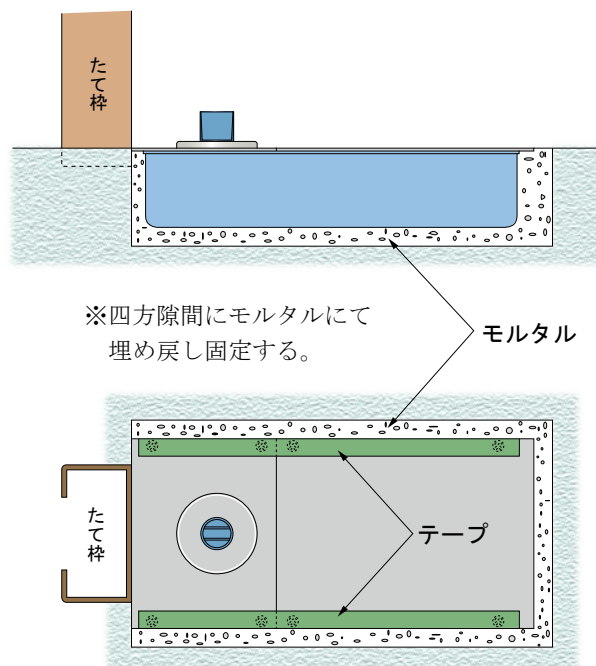
※本体をモルタルにて埋め戻しをする前に、プレート取付ビス頭にモルタルが詰まらないようテープにて養生してください。

①溶接固定の場合



※溶接後、溶接部分に防錆処理をする。
四方隙間にモルタルにて埋め戻し固定する。

②モルタル固定の場合

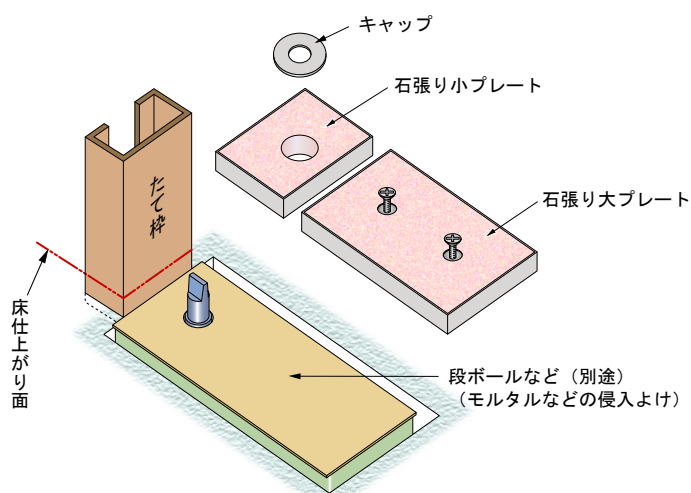
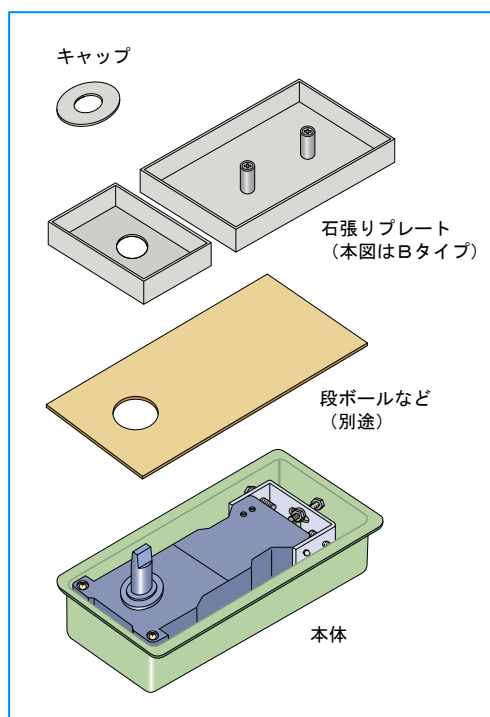
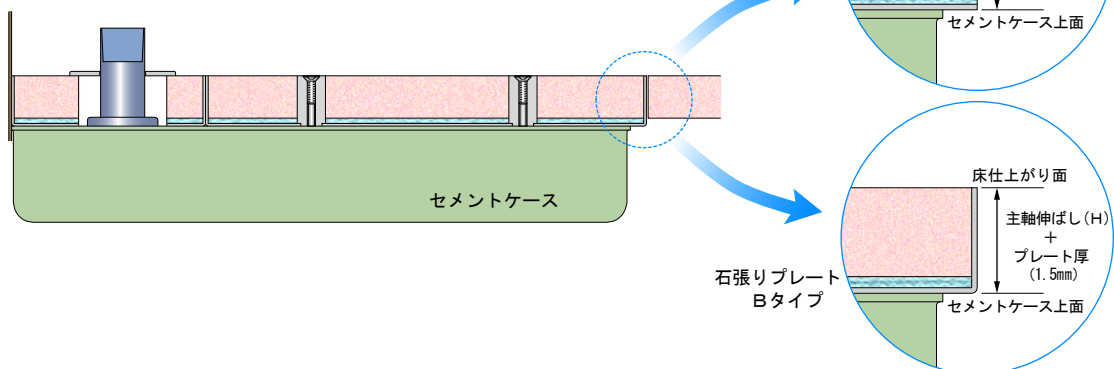


※OAフロアの場合は、フロアヒンジ本体の固定用台座(別途)をご用意ください。

石張り用・タイル張り用

■本体の高さ位置

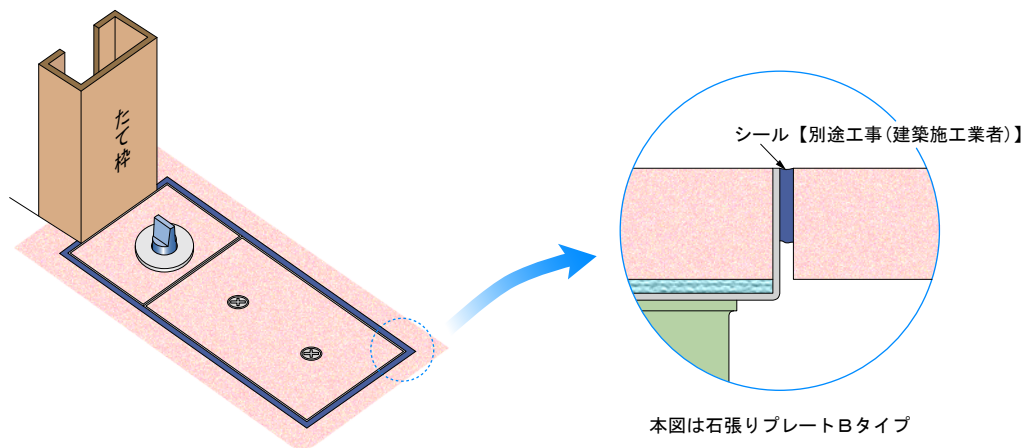
床仕上がり面よりセメントケースの上面が
軸伸びし(H)寸法とプレート厚(1.5mm)
の分下げて据え付ける。



お願い

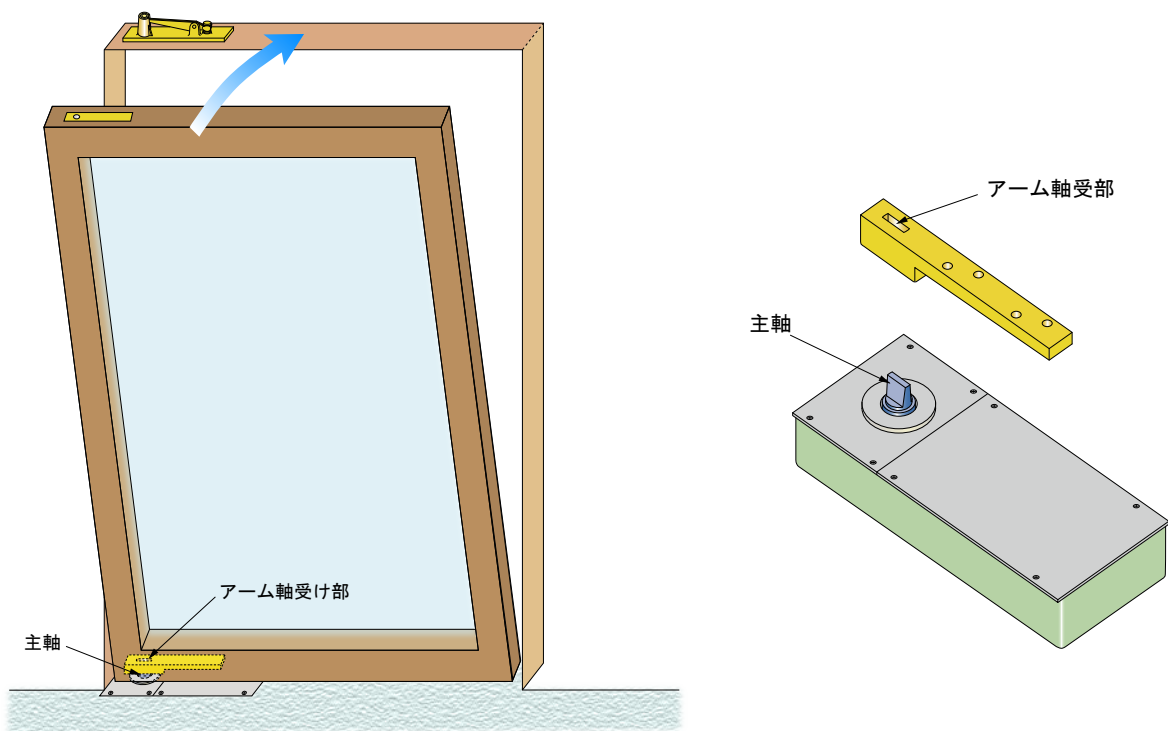
※本体据付後、セメントケース内にモルタルなどが
侵入しないように、段ボールなどでふたをしてく
ださい。

※石張りプレートを設置するときには必ずふたをし
た段ボールをなど取り除いてください。

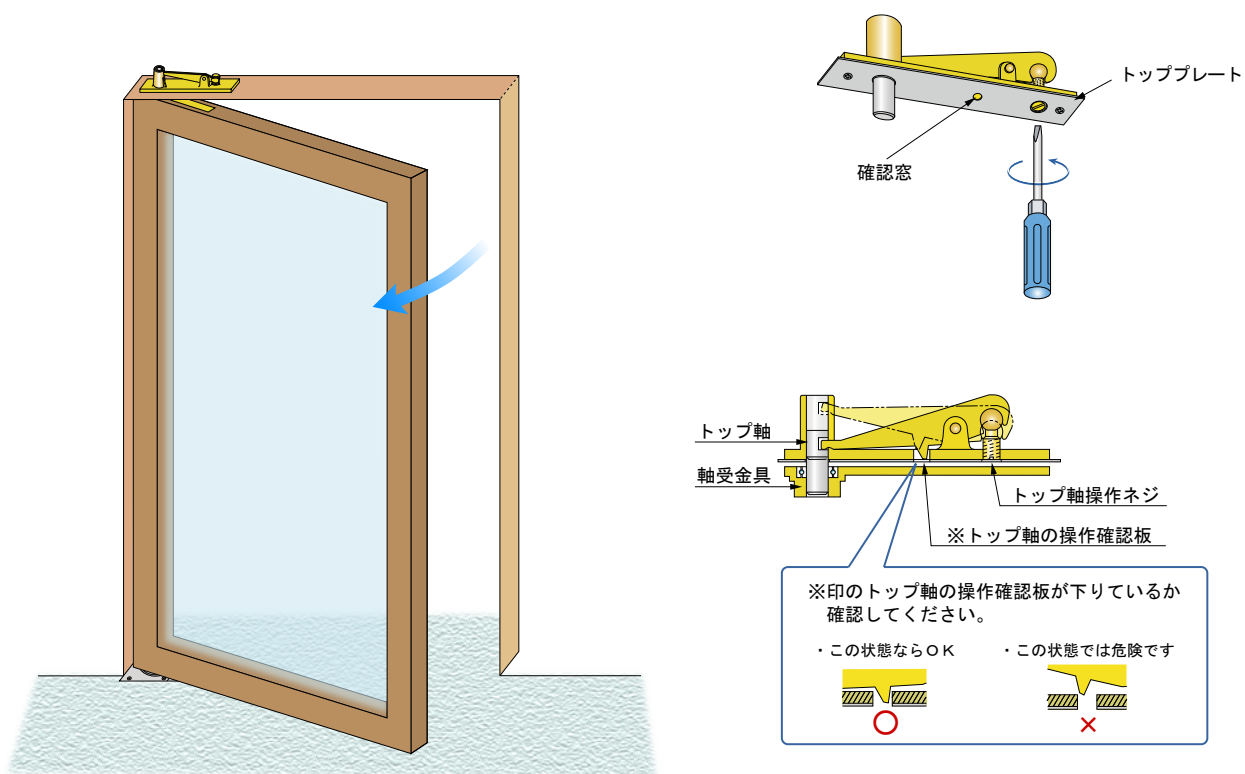


2. ドアの吊り込み及び調整（モルタルが完全に固まってから吊り込み作業をする）

イ) ドアを少し寝かせ、本体主軸にドア下部のアーム軸受け部を入れドアを立てる。



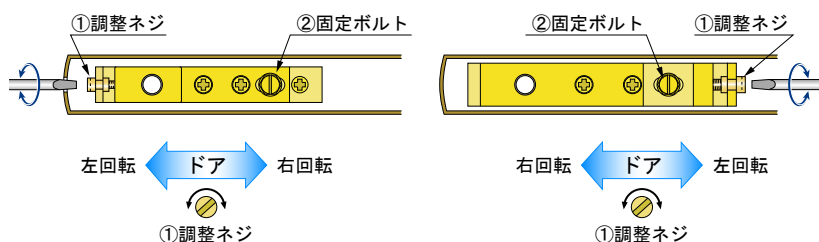
ロ) 立てたドアを約30°以上開き、上枠側トップピボットの軸とドア上部側トップピボットの軸受け部を合わせ、トップ軸操作ネジがトッププレートの内側まで入り込むまで確実に締め込む。



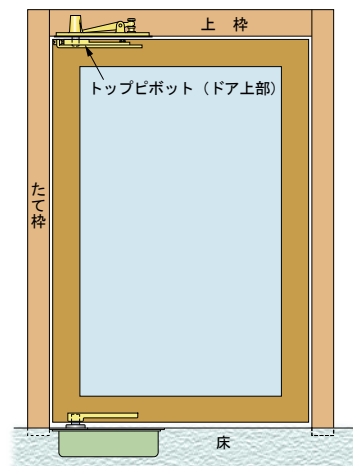
ハ) ドアの閉鎖位置調整及びたて枠とのちり調整。

アルミ製扉・鋼製扉・木製扉用

■ ドア上部側ドア幅方向のちり調整 (トップピボット移動式の場合)

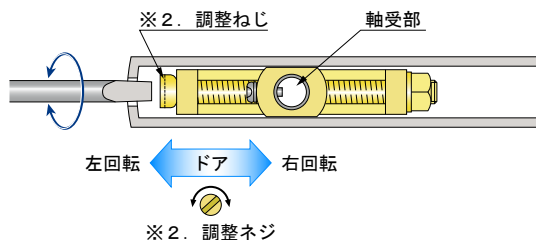
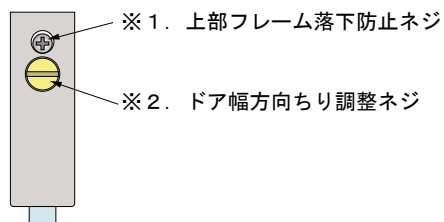


※②の固定ボルトを緩め、⊖ドライバーで①の調整ネジを廻しちりを調整した後、
②の固定ボルトを確実に締め付けてください。

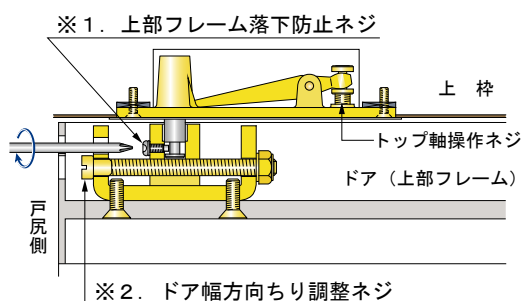


強化硝子扉用

■ ドア上部側ドア幅方向のちり調整

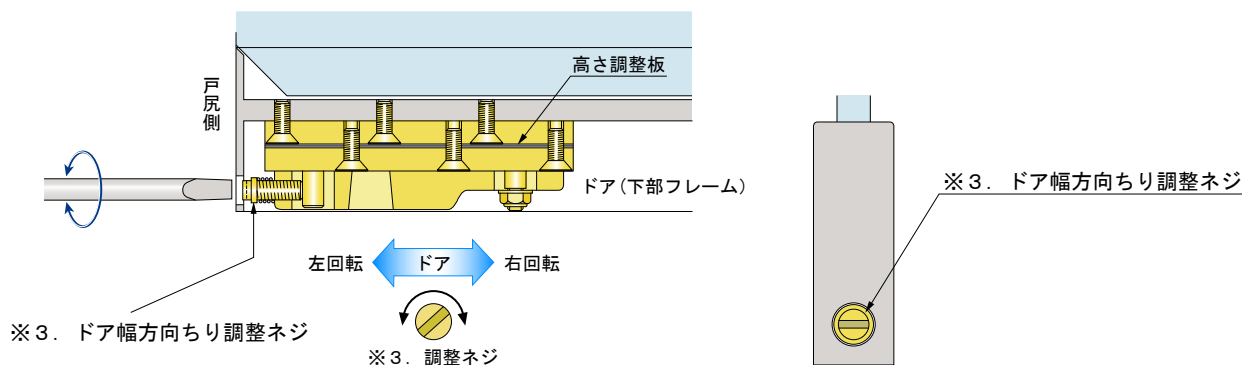


お願い ドア吊り込み後、必ず上部フレーム落下防止ネジを締め付けてください。



- ※1. ①扉上部のちり寸法は3mmとなるように高さ調整板にて調整（ドアの高さ調整参照）してください。
- ②トップピボット上枠側のトップ軸をドア上部側の軸受部に挿入してください。
- ③上部フレーム戸尻側穴（10mm）から⊕ドライバーにて上部フレーム落下防止ネジを締め込んでください。
- ④上部フレーム落下防止ネジを締め込み後、トップ軸操作ネジでトップ軸を上下させて抜けないか確認してください。

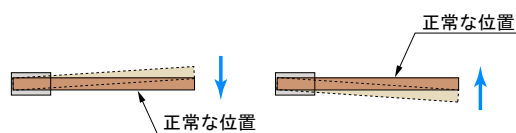
■ ドア下部側ドア幅方向ちり調整（アーム移動式の場合）



■本体での閉鎖位置調整及びたて枠とのちり調整

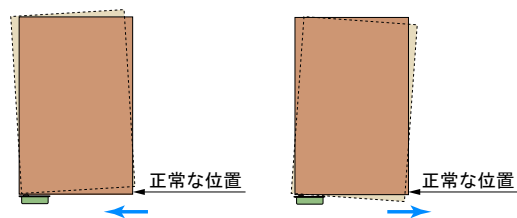
調整方法

① ドア閉鎖位置の調整（召し合わせ調整）

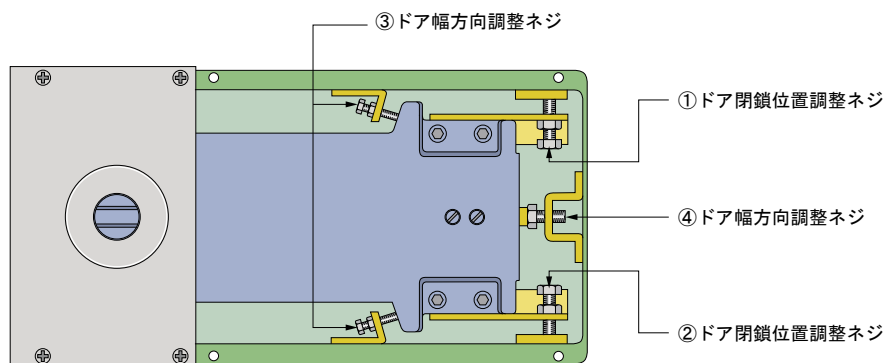


③④のネジを緩め①②のネジで調整する。

② ドア下部側ドア幅方向のちり調整

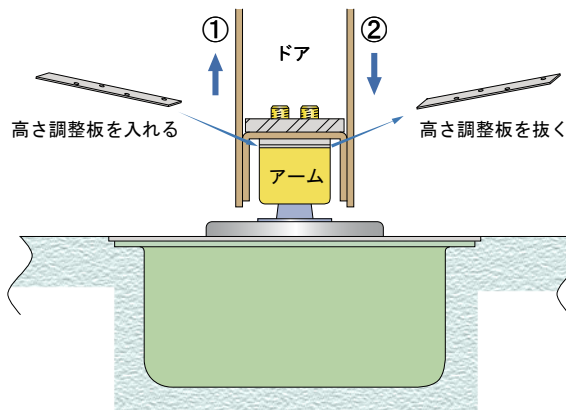
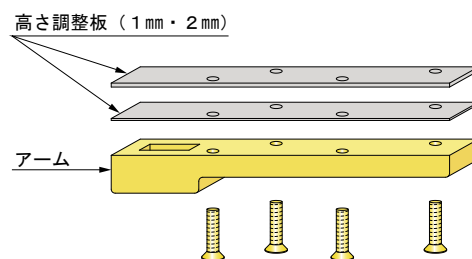
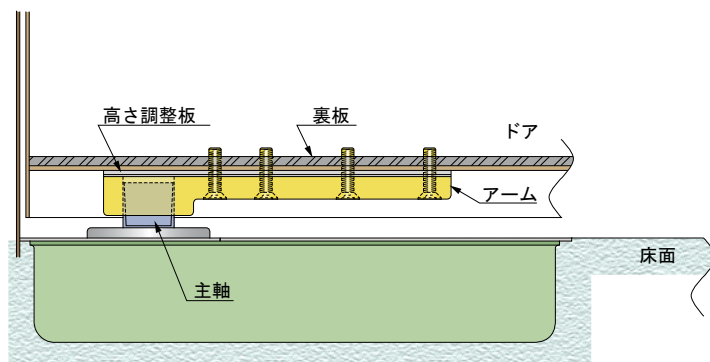


①②のネジを緩め③④のネジで調整する。



※調整後、各ネジは確実に締め付けてください。

二) ドアの高さ調整。（必ずメーカー規定の高さ調整板を使用してください）



① ドアを上げる場合

アームとドアの間に高さ調整板を入れてドアを上げる。

② ドアを下げる場合

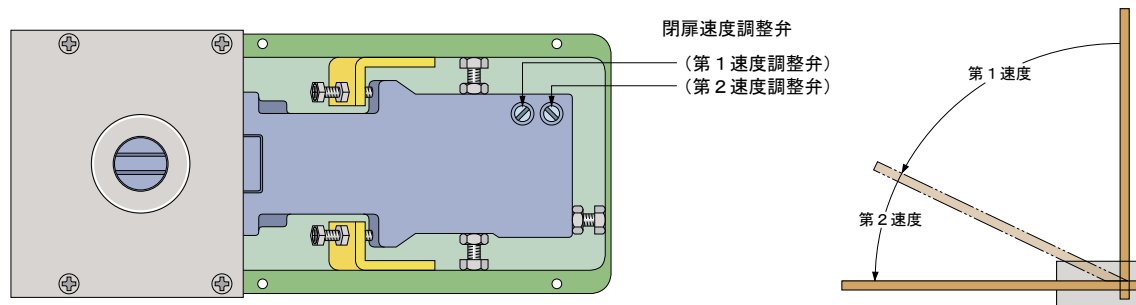
アームとドアの間にある高さ調整板を抜いてドアを下げる。

お願い

主軸は絶対に削らないでください。

主軸を削ると、異音がしたり、扉閉鎖位置で扉がぶらぶらし、閉鎖位置が決まらなくなる原因となります。

ホ) 閉扉速度の調整。



※閉扉速度は速度調整弁にて開扉角度90°から閉扉まで5秒～7秒（適正速度）の間で調整してください。

2速調整の場合、第1速度と第2速度の差を極端に変化させないでください。



速度調整弁を各矢印方向にまわすことによって閉扉速度の調整ができます。

速度調整弁の操作範囲は1回転（360°）以内です。

※速度調整弁を必要以上に回転操作しますと、閉扉作動に支障を来したり、油が漏れ出るおそれがありますので、速度調整弁の上面がフロアヒンジ本体の表面より出ないようにしてください。

3. 部品（トップピボット・アーム）の取付

部品の取付は取付説明書に従い、各製品に同梱されている取付ネジにより確実に固定してください。各部品の取付部には、取付ネジの径に合わせ下表による下孔径及び裏板を必ず使用してください。

取付ネジの径	下 孔 径	裏板の厚さ	締付け基準トルク
5 mm	4.2mm～4.3mm	3.2mm以上	2.9N・m (30kgf・cm)
6 mm	5.1mm～5.2mm	4.5mm以上	4.9N・m (50kgf・cm)

編 集 委 員

（順不同）

ドアクローザ工業会 標準建具部会

長 岡 浄 一（日本ドアーチェック製造株式会社）

井 上 稔 博（大鳥機工株式会社）

佐 藤 勝 則（美和ロック株式会社）

浦 山 俊 雄（株式会社 クラウンドアーチェック製作所）

木 村 芳 博（リョービ株式会社）

三 田 俊 和（ダイハツディーゼルNHN株式会社）

進 士 信 行（日東工器株式会社）